

2025 年度

NACS 中部支部 活動報告書

I. 2024 年度活動報告	.. 1~21
1. 活動概要	
2. 各委員会より	
3. 各分科会より	
4. 各研究会より	
II. 2024 年度予算執行状況	.. 22
III. 2025 年度運営方針、予算	.. 23
IV. 賛助会員・支部会員数	.. 24
V. 2025 年度運営体制	.. 24

公益社団法人 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会 中部支部

2025 年 5 月



I. 2024 年度活動報告

各委員会、分科会で計画した事業および本部委員会事業に対し特に問題なく実施できた。静岡県からの受託事業についても計画通り完了した。

支部会員が漸減しているという状況を踏まえ、運営面の一層の効率化と会員活動の盛り上げを図るための諸活動を進めてきた。結果、会員活動の活性化では新研究会発足に向けた会員へ働き掛けをおこない4つ目となる「超スマート社会研究会」が活動を開始した。一方、運営面ではペーパーレス化のため支部活動報告書の電子配信に移行を決め、2025 年度から実施することになった。

1. 活動概要

1-1. 消費者啓発と人材育成

企業や行政と協働、連携し消費生活全般についての講座、セミナー等の啓発活動及び人材の育成を行う事業を実施しました。

(1) NACS 本部委員会事業

NACS 本部委員会が受託した各種事業に対し中部地域内で企画開催しました。

① 講師派遣事業…(一財)産業人材研修センター ▶詳しくは学校教育報告を参照 (P6)

学校および自治体からの講師派遣依頼に対し会員講師を派遣しました。9 件

- ・依頼元：名古屋市教育委員会、江南市、新城市、名古屋大学、豊田市立五ヶ丘小学校
- ・テーマ：SDGs、食品ロス削減、若者の消費者トラブル

② 標準化セミナー…(一財)日本規格協会 ▶詳しくは事業委員会報告を参照 (P7)

大学生を対象とした標準化セミナーを中部大学で開催

- ・12 月 11 日、講義・グループワーク、12 月 18 日、グループ発表・コメント・全体講評

③ シニアの ICT リテラシー向上啓発…グーグル合同会社 ▶詳しくは総務委員会報告を参照 教材のリニューアルおよび啓発リーダー育成ワークショップの開催 (P9)

④ 高齢者向け消費者教育出前講座教材制作…静岡県

高齢者向けの出前講座に使用するパワーポイントおよび説明シナリオ制作

⑤ 消費生活アドバイザー更新講座、有資格者交流会…(一財)日本産業協会

更新講座の運営と有資格者の集う交流会の企画開催 ▶詳しくは事業委員会報告を参照 (P8)

⑥ トークコンテスト審査員派遣…(株)ジャパンガスエナジー

LP ガス販売の営業トークを競うコンテストの審査員として会員を派遣、9 月 13 日

(2) 中部地域での外部関係団体との交流

①家電リサイクル工場見学会…中部経産局主催

グリーンサイクル株式会社の見学会に参加、9 月 2 日

テレビ、洗濯機などの家電製品の再資源化への取り組みを学びました。

②せいは意見交換会…(一社)生命保険協会

愛知県協会との意見交換会に会員を派遣、10 月 24 日

③愛知県電機商業組合消費者懇談会

地域の電機小売業者組合との懇談会に会員を派遣、2 月 14 日

(3) 行政イベントへの参画

- ・名古屋市主催「名古屋市消費生活フェア」出展、10 月 12 日、オアシス 21

▶詳しくは事業委員会報告を参照 (P7)

- ・岐阜市主催「消費生活展」11 月 3 日、マーサ 21、3 月 8 日、カラフルタウン岐阜

▶詳しくは岐阜分科会報告を参照 (P13)

1-2. 支部運営と会員の相互研鑽や交流

(1) 支部大会 6 月 8 日

名古屋市内ホテルにて他支部会員も含め 85 名(内、オンライン 40 名)の参加を頂き開催。

講演会では東京大学大学院特任教授の鈴木宣弘先生を迎え、『日本の食料安全保障について～健康で豊かな食生活を維持するために、今、私たちができること～』と題してご講演をいただきました。

(2) 運営委員会・全体会議の開催 ▶詳しくは総務委員会報告を参照 (P9)

支部活動の円滑な運営のため月 1 回開催を基本として、運営委員会を実施しました。また、年度

末には運営委員と分科会代表、副代表を交えた全体会議を実施しました。

(3) 分科会活動 ▶詳しくは各分科会報告を参照 (P10～15)

愛知県を除く 6 県に 4 分科会があり地域ごとに活動を進めました。

- ・ 静岡分科会；研修会「租税教育の現状と税」(7/14) 等
- ・ 三重分科会；見学会「松浦武四郎記念館」(5/18) 等
- ・ 岐阜分科会；フィールドワーク「下呂温泉に学ぶ」(10/14) 等
- ・ 北陸分科会；見学会「越前市紫ゆかりの館」(6/15) 等

(4) 消費生活に関する研修会・自主研究会の開催

会員の学ぶ意欲に応えるため研修会を開催すると共に、自主研究の場としての研究会へ活動資金を援助しています。

- ・ 研修会は対面およびオンラインを活用し 4 回開催しました。▶詳しくは研修委員会報告を参照

① 第 1 回 インスタントハウス見学と北川啓介教授講演会 (10/5) (P5)

② 第 2 回「誰もが『おひとりさま』になる時代」行政書士 黒澤史津乃氏 (11/23)

③ 第 3 回「遺伝子組み換えとゲノム編集」元愛知県衛生研究所 猪飼誉友氏 (12/14)

④ 第 4 回「大災害の後にも生活続けるために必要な備えとは」椿佳代氏 (防災士) (2/22)

- ・ 自主研究会では、新たに「超スマート社会 (Society 5.0) 研究会」が発足し、名古屋市を拠点に活動開始しました。▶詳しくは各研究会報告を参照 (P16～21)

研究会 ACT (1995 年～)、食生活研究会 (1999 年～)、AD・CS 研究会 (2003 年～)、

超スマート社会研究会 (2024 年～)

(5) 合格祝賀会&仲間づくりの会

消費生活アドバイザー新資格者への NACS 活動紹介と NACS 会員との交流会を開催しました。

- ・ 2025 年 3 月 29 日、名古屋市ウインクあいち

1-3. 会員への情報提供と広報活動

メーリングリストおよび会員情報誌セントラルC+により会員への活動情報を提供しました。

また、支部ホームページのリニューアルを実施しました。

(1) メーリングリストによるタイムリーな情報提供 ▶詳しくは広報委員会報告を参照 (P4)

- ・ 支部での研修会や他団体主催セミナーなど、開催に合わせて募集やご案内を配信しました。

また、他支部会員向けには本部マイページを活用してご案内しました。

(2) 会員情報誌「セントラルC+」の発行 ▶詳しくは会員活動委員会報告を参照 (P3)

- ・ 支部事業と共に各分科会、各研究会での活動を紹介しました。発行は年 4 回。

(3) 支部ホームページの管理 ▶詳しくは広報委員会報告を参照 (P4)

- ・ 行事スケジュールの公開、新着情報の更新および会員ページへの情報掲載を実施しました。

2. 各委員会より

会員活動委員会

会員活動委員会は、会員の活動を活性化するために以下の活動をしています。

(1) 「セントラルC+」作成

中部支部の行事の実施報告や分科会・研究会等の活動報告を会員に執筆していただき、それらの原稿を編集して年4回、季節ごとに会員情報誌「セントラルC+」を作成しています。「セントラルC+」は、創設当初からモノクロ印刷した紙媒体のものを中部支部の全会員に郵送しておりました。しかし、デジタル化の波に乗り、業務を効率化するため、2019年秋号(10月発行)から電子化を進めました。2022年春号より従来の紙媒体を完全に廃止し、電子版のみになりました。

電子化により写真やイラストがカラーで見られ、より臨場感あふれる活動報告となりました。文中からリンク先に飛べば、活動内容や見学先などの情報をより深く知ることができるようになっていきます。会員からは、興味あるページを印刷してじっくり読んでいる・写真がカラーになって活動内容が生き生きと伝わってくる・いつでもスマホで見ることができるとの感想をいただいています。また、自発的に執筆していただける研究会・分科会や喜んで執筆していただける会員が増えたようにも思います。毎年春号には、全ての分科会・研究会の活動報告を掲載しており、新入会員への活動紹介や交流会などの掲示物にもそのまま使っており、会員の執筆の負担を減らしています。

「セントラルC+」が完成したらメーリングリストで中部支部の会員にお知らせしており、その際メール本文中に参加者募集中の行事なども案内しています。

(2) 有資格者の交流の場作り

他の委員会と協力して、新資格者の集い「合格お祝いと仲間づくりの会」や消費生活アドバイザーの更新講座の際に開催する有資格者交流会の運営にも携わりました。これらの活動を通して、新規入会者の増加や会員同士の気軽な交流の場作りを目指しています。

(3) 活動の場作り

2024年度は、会員に新しい研究会設立を呼び掛けたところ、新研究会が1つ発足しました。

今後は研究会・分科会以外でも活躍する中部支部会員の消費生活アドバイザーとしての活動を広めたり、会員にとって役に立つ情報をメーリングリストで流したりするなど、つながりたくなる・参加したくなるNACS中部支部の活動を模索したいと思います。こんな活動をしたい等ご提案がある方は、お気軽に会員活動委員会へご連絡ください。 会員活動委員会 kaiin@chuubu.nacs.or.jp



2025年春号の表紙です。全ての研究会・分科会の活動報告を掲載しています。

季節に合わせたイラストや会員が撮影した「とっておきの一枚」を掲載することも。

*2ページ目以降は、見学会・研修会の参加報告や分科会・研究会の活動報告など、消費生活に関わる情報満載！

*分科会・研究会の活動報告は超力作です。中部支部会員の活躍や研鑽・ほっこりする話の数々が盛り込まれています。

*これを読めば過去の研修内容の復習や参加できなかった支部行事の様子がわかります。

広報委員会

広報委員会では、中部支部ホームページの管理、Zoom 会議設定、編集、メーリングリストの管理・運用等を担当しております。

中部支部会員、会員外への広報として、ホームページは重要なツールです。2024 年度は、本部ホームページの大幅改修に伴う対応を実施しました。

本部広報委員会にも参画し、中部支部ホームページのコンテンツ構成など具体的な意見を作成、反映いただきました。定期や随時に発生する情報を、タイムリーにホームページに掲載できるよう、複数名がホームページ更新できる体制の構築や、分かりやすいマニュアル作成にも取り組んでまいりました。2025 年度も継続して取り組んでまいります。

ご意見やご要望等がございましたら、ぜひ、広報委員会までメールにてお寄せください。よろしくお願いいたします。

広報委員会の連絡先 kouhou@chuubu.nacs.or.jp

(1) メーリングリスト

新規登録・アドレス変更は随時受け付けておりますので、中部支部会員ページの「[メーリングリストの登録・変更](#)」よりお申し込みください。

- ・現在登録者数 235 名（総会員数 254 名）
(愛知 137 名、静岡 34 名、三重 24 名、北陸 19 名、岐阜 18 名、他 3 名)
(2025 年 4 月時点で、全会員数の 92.5%の方に、ご登録頂いております。)
- ・配信状況 約 48 件/年

(2) ホームページ

トップページは、バナーにて募集中の活動を一目で確認できます。活動のお申し込みは、申し込みフォームから簡単に行っていただけますので、ぜひご活用ください。また、お知らせページにて最近の活動状況や中部支部の会員ページでは、活動の報告も掲載しています。ぜひご覧ください。

主な更新内容 2024 年 4 月～2025 年 3 月

コーナー	時期	更新件数	内容
新着情報	随時	6 件	情報掲載
これまでに開催した事業	随時	13 件	情報掲載
会員向け新着情報	随時	10 件	情報掲載
活動カレンダー	都度	Zoom 予約の登録	39 回
運営委員会議事録	毎月	11 回	PDF ファイルの登録
会員情報誌セントラルC+	四半期	4 回	PDF ファイルの登録
全体会議議事録	2・3 月	2 回	PDF ファイルの登録
支部大会告知	4 月		PDF ファイルの登録ほか
トップページ画像	不定期		適宜差替え

24 年度はホームページ大幅改定がありました。中部支部会員、会員外への広報として、ホームページは重要なツールです。広報委員会では、定期や随時に発生する情報を、タイムリーにホームページに掲載できるよう、複数名がホームページ更新できる体制の構築や、分かりやすいマニュアル作成にも取り組んでまいりました。25 年度も継続して取り組んでまいります。

24 年度からの継続課題である、ホームページ活用方法についても継続検討してまいります。

24 年度のホームページ大幅改定に伴い、本部広報委員会にも参加するようになりました。本部広報委員会と連携した活動についても検討してまいります。

研修委員会

2024年度におきましては、対面3回、オンライン1回の計4回の支部研修会を実施いたしました。

(1) 第1回研修会 「インスタントハウス見学と北川啓介教授講演会」 (参加者数：20名)

2024年10月5日(土) 13:30~16:30、名古屋工業大学にて、キャンパス内に設置されたインスタントハウスの実物見学と、北川啓介教授による講演が行われました。インスタントハウスは、東日本大震災の被災地の子どもたちの声をきっかけに開発されたもので、膜素材を空気で膨らませ、内側に断熱材を吹き付ける革新的な構造を有する住宅です。「誰でもどこでも数時間で建てられる快適な住まい」という意義が強調されるとともに、トルコ・シリア大地震や能登半島地震での活用実績、さらにフードロスを利用した環境負荷ゼロ住宅など今後の展望についても紹介されました。参加者からは「実物を見て理解が深まった」「災害時の住まいを考える良い機会になった」などの声が寄せられ、研修会は大変有意義なものとなりました。



(2) 第2回研修会 「誰もが『おひとりさま』になる時代 一家族に頼らない高齢者支援システムとは」 (参加者数：96名)

2024年11月23日(土) 13:30~15:00、Zoomを利用したオンライン開催にて、講師に株式会社OAG ウェルビーR 代表取締役・行政書士の黒澤史津乃氏をお招きし、少子高齢化社会における新たな高齢者支援の在り方についてお話をうかがいました。従来の「日本型福祉社会」の限界と、家族に依存しない支援システムの必要性について具体的な事例を交えた講演が行われました。参加者アンケートでは「早期から備えを始めた」「安心して利用できる制度の確立を望む」など、将来への不安を背景とした切実な声が多く寄せられました。本研修を通じて、個人の早期対策と社会全体での多面的な取り組みの重要性が改めて確認されました。

(3) 第3回研修会 「遺伝子組み換えとゲノム編集」 (参加者数：19名)

2024年12月14日(土) 14:00~16:00、名古屋市消費生活センター消費者研修室にて、元愛知県衛生研究所衛生化学部長の猪飼誉友氏を講師にお招きし、「遺伝子組み換えとゲノム編集」について講演いただきました。食料生産や医療分野での応用が期待される一方で、安全性や倫理性に関する課題について、豊富な知見に基づき分かりやすく解説していただきました。参加者からは「遺伝子組換え食品は消化過程で分解されるが、本当に安全か疑問が残る。環境への影響も考慮すべきだ」「コメは交雑の特性から遺伝子組換えの影響が少なく、比較的安心できると分かった」「表示から必要な情報を読み取る工夫が必要だ」などの意見が寄せられ、消費者としての知識を深める有意義な機会となりました。



(4) 第4回研修会 「大災害の後にも生活を続けるために必要な備えとは」 (参加者数：16名)

2025年2月22日(土) 14:00~16:00、名古屋国際センター4階第3研修室にて、エンジェルランプ代表・防災士の椿佳代氏を講師にお招きし、災害後の生活継続に必要な備えをテーマにお話をうかがいました。椿氏からは、地震発生時の危険性や避難生活でのストレス要因、依然として多くの課題が残る避難所環境の現状について、具体例を交えてご説明いただきました。後半では災害時のトイレ問題に関する実践的なワークショップを実施し、参加者が自分事として考える機会となりました。参加者からは「トイレの研修が実践的で良かった」「避難生活改善のための心配りの重要性がわかった」「災害への備え(家具固定、備蓄等)を見直したい」などの感想が寄せられました。



2025年度も多くの方々に支部研修会へご参加いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

研修委員会の連絡先：kenshuu@chuubu.nacs.or.jp

(本部事業) 学校教育

2024 年度実績

NACS では本部事業として「講師派遣事業」を行っています。2024 年度の中部支部での講座の実施は以下の通りです。

実施年月日	主催者	講座名	受講生	実施者 (グループ)
2024 年 7 月 3 日	名古屋大学 教育学部	キャリアデザイン演習 「若者の消費者トラブルと その対処法」	50 名	北川住江 高木友美
2024 年 7 月 7 日	江南市	食の省エネー親子で学ぶ 食育講座	18 名	浅野智恵美
2024 年 11 月 7 日	名古屋市 教育委員会	身の回りの食品ロス ～日本の現状と課題から考える～	43 名	浅野智恵美
2024 年 11 月 14 日	名古屋市 教育委員会	家庭で食品ロス削減 ～保存や調理の工夫から考える～	28 名	浅野智恵美
2024 年 11 月 21 日	名古屋市 教育委員会	買い物で食品ロス削減 ～商品の選び方から考える～	28 名	浅野智恵美
2024 年 11 月 28 日	豊田市立 五ヶ丘小学校	食品ロス削減 ～自分で出来ること～	27 名	山田 勲
2024 年 11 月 28 日	名古屋市 教育委員会	外食で食品ロス削減 ～企業や団体の取組から考える～	28 名	浅野智恵美
2024 年 12 月 5 日	名古屋市 教育委員会	私たちにできること ～世界の取組や SDGs から考える～	28 名	浅野智恵美
2025 年 2 月 9 日	新城市役所	いちから始める食品ロス削減	31 名	浅野智恵美

2025 年度実施計画

現時点で本部から割り当てられる講座実施目標数は未定です。
昨年に引き続きまして、当支部としては会員に本事業についての周知を随時行い、地域からの講座等のニーズを引き出し開拓していただけるような試みも実施できればと考えております。様々なキャリアをお持ちの会員の皆様から、積極的に講師としての活動機会に参画いただき、NACS ならではの消費者教育を展開していただきたいと思います。

事業委員会

2024 年度は、事業委員会に関係する事業を 3 回開催しました。それぞれの事業の実施概要を報告いたします。

(1) 「NACS 標準化セミナーin 中部大学」を開催しました。(12 月 11 日・12 月 18 日開催)

～標準化って何だろう～「あなたの知らない標準化の世界」<標準化のたねを探そう>のテーマで、「NACS 標準化セミナーin 中部大学」を開催しました。セミナーは、令和 6 年度経済産業省委託事業として、中部大学・名古屋市・NACS 中部支部のコラボレーションで開催しました。

中部大学での標準化セミナーは、6 年連続の開催となりました。今回は大学の講義方法に合わせて、全員が一室に集まれる階段教室での対面形式セミナーとなりました。

セミナーのねらいは、「標準化について学んできた幅広い知識を活用し、グループワークで更に理解を深め、標準化の重要性・必要性を学ぶ」ことと「消費者視点による標準化のたね探し、標準化することによる課題解決方法と期待される効果を検討する」ことの 2 点でした。

セミナー対象者は、中部大学経営情報学部で「経営環境」カリキュラム(標準化について学ぶ全 15 回のカリキュラム)を受講する 2 年生 3 年生中心の 127 名でした。また、ファシリテーター及びコメンテーターとして、NACS 中部支部より 10 名が参加しました。

プログラムは、前半 12 月 11 日(水)90 分が、…第 1 部…講義①「名古屋市におけるエシカル消費の普及と啓発事業について」(講師:名古屋市)講義 ②「～標準化って何だろう～あなたの知らない標準化の世界」(講師:NACS 担当)講義 …第 2 部…グループワーク「標準化のたね探しと解決策について」後半 12 月 18 日(水)90 分が、…第 3 部…グループ代表者による各グループ別発表・グループ別コメント及び全体講評・参加者全員による各グループ別評価の 3 部構成でした。

セミナーは経営情報学部の「経営環境」カリキュラム全 15 回の 12 回目と 13 回目を活用した 2 週連続 2 回完結にて、中部大学 2215 階段教室での開催となりました。

学生さんたちは熱心に講義を聴き、またグループワークには、NACS と名古屋市のメンバーがファシリテーターとして、各グループの積極的な討議に加わりました。更にグループ代表者発表会では、NACS と名古屋市のメンバーはコメンテーターとして参加し、発表内容の評価も致しました。

グループ代表発表会では、最近の新しい生活様式・消費者ニーズの変化に応じるための視点、デジタル化推進・AI 活用視点からの内容が多かった。例えば「列車の省スペース座席の標準化」「飲食テイクアウト用包装容器の標準化」「空港内における多言語支援サービスの標準化」「医療関連 AI の標準化」など、身近なモノ・コトからの提案で導入可能だと思われるものが多かった。

受講後のアンケート結果では、回答者のほぼ全員が「参加してよかった」「標準化について理解が深まった」と答え、セミナーの満足度は高かったと思われました。参加した NACS 会員も、学生さんたちとの討議もあり、大変有意義なセミナーとなりました。



講義の 1 コマです



グループ発表会の様子です

(2) 「令和 6 年度名古屋市消費生活フェア」へ ブース出展しました。(10 月 12 日開催)

「エシカル消費～誰でも 気軽に いま、はじめよう!～」をテーマとして「令和 6 年度名古屋市消費生活フェア」～ なごやエシカルフェア☆2024～ が名古屋市の主催で開催されました。

人や社会・環境に配慮した消費行動である「エシカル消費」をはじめとした消費生活に関する様々な知識を、展示や動画、体験ブースなどを通して楽しく学んでもらうイベントです。

NACS 中部支部は、対面型展示ブースに出展しました。出展準備から開催当日の運営は、AD・CS 研究会のメンバーが実施しました。定例会ミーティングを通して、役割分担による出展コンテンツ作成などの準備作業を行いました。

NACS 中部支部は、「持続可能な食生活のためのエシカル消費！」のテーマで出展しました。来場者に、①日本の食料自給率の現状と食生活の変化について ②お米について(自給率の高い米を現在よりも摂取することの提案、米粉の紹介) ③タンパク質について(日本が食糧不足に陥った時に最も不足する栄養素はタンパク質であり、プラントベースフードの提案など)を訴求する内容のパネル展示をしました。20名の運営メンバーは、交代で展示物などの解説をし、クイズとアンケートの回答収集も実施しました。クイズとアンケートの回答数は、162件でした。

フェアは、10月12日(土)午前10時30分～午後4時に「オアシス 21 銀河の広場」で開催され、60団体が参加しました。当日の会場全体の来場者数は、8,000人となり大盛況でした。



フェアステージの画像です



出展ブースの画像です

(3)「2024 年度消費生活アドバイザー有資格者交流会」を開催しました。(10月26日開催)

2024年10月26日「2024 年度消費生活アドバイザー資格者更新講座」が、(一財)日本産業協会により、名古屋市 IMY ホール 6 階第 3 会議室にて開催されました。更新講座の開催に合わせて、同日同ホール隣の第 2 会議室を会場として「2024 年度消費生活アドバイザー有資格者交流会」を開催しました。交流会は(一財)日本産業協会との共催で、NACS 中部支部として 3 回目の開催となりました。

交流会の目的は、①更新講座受講者を対象に「交流の場」として活用してもらう ②来場者の日常活動や問題点・課題などについて、相談・情報交換をおこなう ③来場者に NACS 及び中部支部の活動を知ってもらい、可能なら入会を勧める、の 3 点でした。

会場では、NACS の紹介・中部支部の各分科会と研究会の活動紹介などをポスター掲示し、スタッフが丁寧に説明しました。また、会場に入場しやすいムードづくりや、来場者がリラックスして余裕を持って話ができる雰囲気になるような演出とスタッフ対応にも工夫しました。

来場者のアンケートでは(回答者は全て NACS 会員でした)、「交流会に参加して良かった」「次回も参加したい」という肯定的な意見がほとんどとなりました。

交流会は、11時から14時までの3時間の開催でしたが、来場者は22名余りとなり、日程変更後の開催としては有意義な交流会となりました。(当初開催予定は8月31日、台風の為延期となった)



交流会の 1 コマです



交流会会場の様子です

総務委員会

総務委員会は、恒常的に支部活動の円滑な運営を支援する活動を展開しています。
2024年度は、オンライン、対面の良さを生かした各種活動を展開致しました。

(1) 運営委員会等定例業務について

運営委員会は、ほぼ毎月11回開催。オンラインのみの会議2回、ハイブリッド会議5回、対面のみの会議を4回実施し、研修会など他行事との併催も4回行い効率的な運営を行いました。

中部支部HP会員ページに2015年度以降の議事録を掲載しておりますので是非ご覧ください。

また、支部大会は、6月8日に会場（アイリス愛知）とオンラインによるハイブリッド方式で開催。支部活動報告書は会員配布分については電子化し、冊子印刷は300部から関係団体及び支部大会出席者配布用100部に削減しました。次年度は完全電子化に移行する予定です。

(2) 全体会議

例年、分科会の代表と運営委員、代議員が参加し、年度の支部及び分科会の活動総括、今後の支部運営について活発な意見交換を行い、新年度の活動方向性を確認しており、今年度は3月29日（土）にウインクあいちにて開催致しました。

支部長からは、運営面の一層の効率化と会員活動の盛り上げの諸活動により、4つ目となる研究会「超スマート社会研究会」の活動開始、運営面では支部活動報告書の電子配信に移行を決めたことなどが報告されました。各分科会からは、分科会の壁を越えた合同例会の実施、各地域の特色を生かしたオンライン、対面を取り混ぜた多様な活動の報告がありました。各委員会からは、ホームページのリニューアル、予定を上回る4回の研修会の実施、C+の完全電子化、参加人員が増加した標準化事業など活発な活動実績について報告がありました。

意見交換では、会員の高齢化対応、経理処理の簡素化、オンライン活動でのコミュニケーションの活性化などについて活発な意見交換が行われました。

(3) 消費生活アドバイザー受験者支援、入会促進活動

・2次試験相談会について

2次試験相談会出席 ⇒ 新資格者歓迎会での入会勧誘 ⇒ NACS 入会という以前の入会パターンが弱まり、本部の試験対策講座の充実もあるため、24年度は休会と致しました。休止の影響を見極め今後の活動を検討したいと思います。

・合格お祝いと仲間作りの会の開催

3月29日（土）に中部支部主催の合格祝いと仲間づくりの会を対面で開催しました。

(4) シニアのICTリテラシー向上啓発活動

活動の3本の柱について以下のような7年目の活動を展開しました。

・教材の開発

活動初期に開発された教材、「すみれさんのわくわくインターネットライフシリーズ」のリニューアルを行うこととなり。中部支部では「アプリのインストール編」を担当、会員3名で、ICT環境のアップデート、難解な表現の平易化など作業を進め3月中旬に完成いたしました。

・水平展開：ICT啓発リーダー育成ワークショップの開催

中部支部にはすでに約50名のICT啓発リーダーがいますが、今年度は、最近のNACS入会者の参加と、既ICTリーダーのフォローアップを狙い3月15日にワークショップを開催しました。新規8名、既ICT啓発リーダー11名と多数の参加を得て、活動の概要説明、模擬講座体験を実施しました。

・垂直展開：ICT啓発リーダーによるワークショップ開催

長年の活動の中で、ICT啓発リーダーがワークショップを開催する場を探すことが困難であることが課題として浮かび上がっていました。この状況の打開策として、今回、岐阜県環境生活部県民生活課に本活動を紹介したところ、ぜひ次年度の岐阜県消費者啓発推進員に登録し、岐阜県消費生活出前講座でICT関連のワークショップ開催をお願いしたいとの要請を受けました。

それに呼応し、8名の会員が推進員として登録を行い、NACSチームとして2025年度の出前講座に対応することとなった。現在活動に備え準備進行中です。

総務委員会の連絡先 soumu@chuubu.nacs.or.jp

3. 各分科会より

静岡分科会 2024-2025

代表 河合 康成

2024 年度活動報告

(1) 活動組織：分科会代表 河合康成、副代表 山岡美須永、会計 山下裕夫

役員 森脇和子・山田美代子

(2) 活動方針：「つなげよう・広げよう、交流の輪を！」 (継続)

(3) 行事内容

当初計画した例会6回を予定通り実施 (Zoom方式：4回、簡易的なハイブリッド方式：2回)

行事	内容	結果
第1回定例会【Zoom】 5月26日(日) (会員 計12名)	演題：会員の地域貢献・趣味の紹介 ・木彫に魅かれて：土屋良彦氏 ・私の世界遺産検定：青島吉男氏 ・ギター弾き語りボランティア活動 (笑顔と元気を届けて)：古川千秋氏	・趣味の域を超えた仏像製作 ・最上級マイスターを取得 ・ケアホームなどの訪問回数は330回越え
第2回定例会【Zoom】 7月14日(日) (会員 計10名)	演題：「小学生を中心とした租税教育の現状と税のあらまし」 講師：会員 勝又直人氏	県職員の講師が業務の一環として取り組む「租税教室」について学びました。
第3回定例会【Zoom】 9月28日(土) (静岡10、三重7、北陸5 計22名)	テーマ：「地震の被害を知り正しく災害を恐れ、正しく準備しよう」 ① 能登半島地震体験：北陸分科会 ② テーマに沿って一人一言発言 または会話	事前に集めた質問に対して、情報収集・資料作成頂いた結果を北陸分科会から報告頂きました。参加者から、自助の重要性を再認識する声が多数出ました。
第4回定例会【Zoom】 11月10日(日) (会員 計11名)	演題：「デジタル遺産について～税務上の取り扱いと対応策～」 講師：辻・本郷 ITコンサルティング取締役 税理士 菊池典明氏	デジタル遺産の理解を深めるとともに、生前に被相続人ができる対策について学びました。
第5回定例会 【ハイブリッド方式】 1月12日(日) (会員 リアル8、Zoom4 計12名)	演題：「メタバースが私たちの生活にどのような変化をもたらすか」 講師：一般社団法人 メタバース推進協議会理事 市川達也氏 ◆例会後の懇親会：8名	目指すところは、“生活者主体の視点を持ち、日本独自の生活文化プラットフォームをメタバースで作り育てること”でした。
役員会 2月12日 【Zoom】 (役員8名)	来年度役員体制・活動計画・会則改正【案】を策定した。	
2024年度総会	次年度の体制・活動方針・会則改正について、承認を得た。	
第6回定例会 【ハイブリッド方式】 3月9日(日) (会員 リアル10、Zoom2 計12名)	演題：「家の中の安全を考えよう」 講師：株式会社 LIXIL 池田明生氏 ◆昼食会：10名参加	家庭内の事故死は交通事故の4倍に達するとの事であり、家の中に潜む危険について、様々な観点から解説頂きました。

(4) 参考情報

1) 分科会会員動向 新規加入：2名、退会1名 ⇒ 2024年9月時点の在籍者数 42名

メーリングリスト登録者 36名 (86%)

2) 当会会員の静岡県消費者教育講師人材バンクへの登録状況

・消費者教育講師：計9名程度 (全登録数の推定：60名弱)

・シニア向けデジタル講座講師 (ICT)：少なくとも3名

2024 年度を振り返って

計画に対して、 できたこと	・簡易的ハイブリッド方式例会の定着化（1 月度・3 月度 2 回／年） ・会員交流として、新年会（1 月）・昼食会（3 月）も実施 ・三重分科会・北陸分科会との合同例会の実施（テーマ：災害対応）・
計画に対して、 できなかったこと	・分科会活動を担う人材発掘 ・例会参加者・視聴者の減少回復
残された課題	・分科会活動を担う人材発掘・育成 ・簡易的ハイブリッド方式に関する Zoom スキルアップ ・合同例会の有り方の模索 ・会員の ICT リテラシー向上意欲の高揚化

2025 年度活動方針

(1)活動方針 ＜活動スローガン＞「つなげよう・広げよう、交流の輪を！」（継続）

分科会活動形態を広げ、活動の活性化及び会員交流の推進に取り組みます。

- ・簡易的ハイブリッド方式での例会の浸透化
- ・他分科会との交流促進
- ・会員への ICT リテラシー向上に資する情報・機会提供（継続）

(2) 活動組織：分科会代表 河合康成、副代表 山岡美須永、会計 山下裕夫
役員 森脇和子・山田美代子

(3) 中部支部・本部 関係

- ・代議員（2023 年 12 月改選、任期 2 年）：山岡美須永・河合康成
- ・ICT リーダー：山岡美須永・河合康成・勝又直人・菅ヶ谷香代・森田拓

(4) 行政 関係

- ・静岡県消費生活審議会委員（令和 6 年 9 月 1 日～、任期 2 年） 山岡美須永
- ・静岡市消費者教育推進地域協議会委員（令和 5 年 7 月 1 日～、任期 2 年） 山下裕夫
- ・御殿場市消費者教育推進協議会委員（令和 6 年 4 月 1 日～、任期 2 年） 勝又長生
- ・静岡県入札監視委員会委員（令和 5 年 12 月 16 日～、任期 2 年） 池谷てる代
- ・静岡県カスタマーハラスメント防止対策協議会委員（令和 7 年 3 月 17 日～、任期 2 年） 山岡美須永
- ・静岡県国民保護協議会委員（令和 7 年 4 月 1 日～、任期 2 年） 山岡美須永

以上

2024 年度活動報告

- (1) 活動組織：代表 陰地康行、副代表 田中睦、会計 前田芳子
- (2) 活動方針：会員の関心があるテーマを取り上げ、知識向上につなげるとともに地元三重について知り、楽しく参加しやすい分科会活動を目指す。
- (3) 行事内容

行事	開催日・場所	内 容	結 果
第 1 回 定例会	5 月 11 日(土) 10:00～13:30 松浦武四郎記念 館見学ツアー	地元の歴史探訪として北海道の地名を命名した幕末の藩士松浦武四郎記念館見学ツアーを実施	参加者：15 名 (三重:11 名 他県 4 名)
第 2 回 定例会	7 月 20 日(土) 10:00～12:00 アスト津 4 階 会議室	勉強会「相続登記」義務化 伴う手続きと注意点 講師：小林聖仁氏 小林司法書士事務所	参加者：13 名 24 年 4 月 1 日より相続登記制度義務化となり、不動産登記の 3 年以内登記とその他注意事項
第 3 回 定例会	9 月 28 日(土) 13:30～15:00 Zoom による 定例会	静岡分科会北陸分科会合同 例会 テーマ：防災を知る 北陸分科会主催	参加者：三重 7 名、静岡 10 名、 北陸 5 名 北陸から能登の震災被害について 報告頂き、災害についての情報交換 を行った。
第 4 回 定例会	11 月 16 日(土) 10:00～12:00 静岡分科会と 合同見学会	勉強会「損害保険」について 講師：鈴木勝彦氏 日本損害保険協会講師	参加者：10 名 損害保険について地震、家屋、家財、など災害後の保険の実態を勉強する。
第 5 回 定例会	1 月 18 日(土) 10:00～13:00 アスト津 5 階 研修室 B	次年度分科会行事検討会 新年互礼会開催。	参加者：11 名
第 6 回 定例会	3 月 15 日(土) 10:00～12:00	勉強会「消費税の性質を理解する」 講師：大畑智史教授 三重短期大学法経科教授	参加者：11 名 税の三原則、 もっと知ろう消費税 インボイスについて 消費税の役割など

2024 年度を振り返って

専門知識アップデートとして各回ごとにテーマを決めて勉強会と地元の発見を進めてきました。今回他県の分科会との交流を計画 Zoom による北陸、静岡合同例会を実施会致しました。参加者数の減少など上手く行かない事もありました。
次年度も同様なテーマに沿って、さらに違った視線からも検討して進めて参ります。

2025 年度活動方針

本年度も会員各位のスキルアップと地元の文化や歴史探究を基本に、他分科会との交流会や会員内での自主勉強会も実施し明るく楽しく活動し全員参加を目指します。

2024 年度活動報告

(1) 活動組織：分科会代表 山田圭子、副代表 清水美和子、会計 北川住江

(2) 活動方針：メンバーの持ち味をさらに発揮し、幅広い活動を目指す。

自身の資質向上はもとより、人生を振り返りつつ、未来を拓く活動につなげたい。

様々な課題に取り組みつつ、メンバーの絆をさらに強固にしていきたい

(3) 行事内容

行事	開催日・場所	内 容	結 果
第 1 回 定例会	4 月 21 日(日) 10:00～12:00 ハートフルスクエア G	・ 2024 年度活動計画	・ フィールドワークや講座など学びたいことを出し合い、大まかな日程を検討
第 2 回 定例会	6 月 23 日(日) 10:00～12:00 ハートフルスクエア G	・ 支部大会報告 ・ 年間計画	・ 支部大会資料と講演会の概要を報告 ・ 秋にフィールドワークを実施する。
第 3 回 定例会	8 月 25 日(日) 10:00～12:00 ハートフルスクエア G	・ 岐阜市消費生活展の出展内容確認 ・ フィールドワーク「下呂温泉」へ詳細検討	・ 消費生活展のクイズ内容を検討 ・ 温泉博物館や市内散策の行程などを検討
第 4 回 定例会	10 月 14 日(月・祝) 11:00～16:00 下呂市	・ 日本 3 大温泉の一つ「下呂温泉」に学ぶ	・ 下呂温泉の歴史と風土を感じ、岐阜の自然に改めて感謝し、継続の大切さを学んだ。(C+冬号に投稿)
第 5 回 定例会	11 月 3 日(日) 10:00～16:00 マーサ 21	・ 岐阜市消費生活展 成年年齢引下げ・契約に関する クイズラリー	・ 消費者ネットワーク岐阜と共同で参画。クイズを提供した。
第 6 回 定例会	12 月 14 日(土) 10:00～12:00 ハートフルスクエア G	・ 金融講座開催に向け、依頼内容の検討	・ 昨年学んだ「新 NISA」のその後運用について、豊かな老後とは？等疑問を出し合い、講師に依頼。
第 7 回 定例会	2 月 9 日 (日) 10:00～14:00 ハートフルスクエア G	・ 「老後の花道」 健康・生きがい・お金のことを考えたライフプラン ファイナンシャルプランナー坂井武先生	・ <u>健康</u> (身体と精神)、 <u>生きがい</u> (生活費と趣味)、 <u>お金</u> (守りの計画：支出を減らし、収入はプラスαと捉え、資産リスクと相続にも思いを巡らす)の 3 項目のバランスを考え、準備することの重要性を学んだ。
第 8 回 定例会	3 月 8 日 (土) 10:00～16:00 カラフルタウン岐阜	・ 岐阜市消費生活展 成年年齢引下げ・契約に関する クイズラリー	・ 消費者ネットワーク岐阜と共同で参画。クイズを提供した。



第 4 回 定例会 フィールドワーク 「下呂温泉」に学ぶ

2024 年度を振り返って

コロナ前のように対面での活動が中心となった。フィールドワークでは電車を利用したことで車中の話らいが弾み、メンバーの絆を深めることができた。2 月の金融講座では、講師が 10 年も前から準備を進めていることを聞き、人生設計とは長期の視点が必要であることを改めて感じ、仲間との長いお付き合いが生きがいにつながるよう活動を進めていきたいと感じる 1 年であった。

2025 年度活動方針

メンバーの持ち味をさらに発揮し、幅広い活動を目指す。

自身の資質向上はもとより、人生を振り返りつつ、未来を拓く活動につなげたい。

様々な課題に取り組みつつ、メンバーの絆をさらに強固にしていきたい。

(副代表の清水さんがご家庭の事情で退任され、新副代表に堀部葉子さんが就任した)

2024 年度活動報告

(1) 活動組織：分科会代表 橘宏和、副代表 片谷千恵子、会計 橘宏和

(2) 活動方針：

- ・消費者問題等に関する勉強会等を開催し、消費生活アドバイザーとしての知見を広める。
- ・北陸分科会会員相互の交流と親睦を深めるとともに、座学だけでなく現地に出向き、自ら体験・体感することにより、北陸3県の良さを再認識する。

(3) 行事内容

日時	場所	テーマ	実施内容
第1回定例会 6月15日(土) 10:00～15:00	福井県越前市 「紫式部公園、 越前和紙の里、 岡太神社」他	福井県越前市を訪問し地域の再発見に繋げるとともに北陸の良さを再認識	2024年NHK大河ドラマ「光る君へ」に関連し、紫式部の足跡を訪ね、当時の暮らしや文化に触れるフィールドワークを実施。「越前和紙の里」では学芸員による解説や紙漉き体験を実施した。参加者10名
第2回定例会 9月28日(土) 10:00～12:00	静岡&三重分科会 合同定例会 (Zoomによるオンライン会議)	令和6年能登半島地震の状況を参加者間で共有し、災害に対する心構えについて考える	事前に会員から質問を集約し、回答出来る範囲で被災した会員のご親戚に聞き取りを実施。発災時の状況や、その後の避難生活等を共有し、今後発生するであろう大地震発生時への心構え等について意見交換した。参加者22名
第3回定例会 2月15日(土) 10:00～12:00	Zoomによるオンライン会議	石川県を中心とした北陸地方における消費者被害の実態や消費者支援等について	「適格消費者団体認定NPO法人消費者支援ネットワークいしかわ」さまによる講演を開催。質疑応答も活発に行われた。参加者8名
第4回定例会 3月16日(日) 10:00～11:00	Zoomによるオンライン会議	・2025年度北陸分科会運営方針及び分科会人事について協議 ・2025年度活動計画の策定	2025年度の分科会活動方針、及び分科会人事について協議・決定するとともに、会員相互の近況報告を行った。参加者9名

2024 年度を振り返って

新型コロナウイルスの影響も終息したことにより、リアルでの活動が出来ました。

また2024年度は初めて他の分科会会員とリモートによる定例会を開催し、交流を図ることが出来ました。

2025 年度活動方針

2025年度もこれまでと同様に、北陸3県の各地を直接訪ね、地域の再発見に繋げるとともに、自ら体験・体感することにより、北陸3県の良さを再認識する活動を行います。

活動内容につきましては消費生活アドバイザーとしての知見を広げるとともに「参加して良かった」と思っただけの内容とし、多くの会員に参加していただけるよう計画して参ります。

<活動方針>

- ・消費者問題等に関する勉強会等を開催し、消費生活アドバイザーとしての知見を広める。
- ・北陸分科会会員相互の交流と親睦を深めるとともに、座学だけでなく現地に出向き、自ら体験・体感することにより、北陸3県の良さを再認識する。

<活動組織>

代表	橘宏和（石川）	福井県代表	片谷千恵子
副代表	片谷千恵子（福井）	石川県代表	北川智重子
会計	橘宏和（石川）	富山県代表	川合芳明
代議員	橘宏和（石川） 任期：2年		

4. 各研究会より

研究会 ACT 2024-2025
2024 年度代表 砂村 伊佐子
2025 年度代表 荒川 美枝子

2024 年度活動報告

- (1) 会員数 : 5 名
(2) 活動方針: 暮らしに関わるさまざまな問題に対し調査・研究・提言することを目的として活動
(3) 行事内容

行 事	開催日・場所	内 容	参加
4 月度定例会	4 月 17 日 (水) 14:00~15:40 伏見ライフプラザ 11F サロン	・会計報告 ・「ACT de GO」実施報告とスケジュール確認	5 名
出前講座	5 月 15 日 (水) 10:00~11:30 名古屋市瑞穂区ほっこりサロン	・瑞穂ほっこりサロンにおける「ACT de GO」の実施	5 名
6 月度定例会	6 月 19 日 (水) 10:00~12:00 伏見ライフプラザ 11F サロン	・支部大会の報告 ・新しいプログラムの検討	5 名
7 月度定例会	7 月 31 日 (水) 13:30~16:00 伏見ライフプラザ 11F サロン	・新しいプログラムの検討 ・11 月 7 日のプログラム作成、	5 名
9 月度定例会	9 月 4 日 (水) 13:30~16:00 伏見ライフプラザ 11F サロン	・新しいプログラムの検討 ・フィールドワークについて	5 名
10 月度定例会	10 月 2 日 (水) 13:30~16:00 伏見ライフプラザ 11F サロン	・新しいプログラムの検討 ・フィールドワークについて	5 名
10 月度定例会	10 月 23 日 (水) 13:30~16:00 伏見ライフプラザ 11F サロン	・11 月 7 日「ACT de GO」のスケジュール確認とリハーサル	5 名
出前講座	11 月 7 日 (木) 13:30~14:30 名古屋市瑞穂区サロン笑話会	・サロン笑話会 における「ACT de GO」の実施	4 名
出前講座	12 月 3 日 (火) 9:40~11:00 名古屋市名東区香流元気会	・香流元気会 における「ACT de GO」の実施	5 名
2 月度定例会	2 月 5 日 (水) 13:30~16:00 伏見ライフプラザ 11F サロン	・今年度の活動の振り返り ・ロッカーの整理	5 名

※ 上記以外にも Zoom によるオンライン定例会を実施しました。(5 月 8 日、11 月 20 日)

(4) トピックス

「消費者トラブルから身を守ろう -お役立ち隊 ACT de GO-」は、ACT オリジナルのポロシャツの新調で、活動がいつそう盛り上がりました。メインプログラムの「悪質商法の寸劇」、参加者と一緒に楽しめる「ご当地クイズ」「ダンス体操: マツケンサンバ」、さらに今年度は新しいプログラム、知っているのと役に立つ「毎日の買物」にも挑戦し、メンバーも楽しく活動しました。活動地域はこれまでの瑞穂区から名東区まで大きく広がりました。出前活動の回数が増えるにしたがって寸劇の臨場感も増し、今後の活動がますます楽しみです。

2025 年度活動方針

2025 年度も出前講座 「お役立ち隊 ACT de GO」をメインに活動します。訪問先の高齢者サロンの中には、活動が複数回となるところもあり、さらに新たなプログラムを企画していきます。活動エリアも広がり、どのような交流ができるか楽しみです。フィールドワークも計画します。

2024 年度活動報告

(1) 会員数 : 26 名

(2) 活動方針：消費者の身近な話題や疑問からテーマを選定し、顧客満足の視点から企業、行政、消費者それぞれの問題点の抽出、対策の提案を行っていく。

(3) 行事内容：基本、定例会を毎月第三土曜日の午後開催、2024 年度はハイブリッド開催（Zoom）近年、旬の話題を研究した成果を名古屋市消費生活フェアに、ブース展示しています。調査のためのフィールドワークも積極的に実施しています。また、年に 1 回、消費生活に関係する書籍を、会員内で選択し読書後、意見交換をしています。

開催日	テーマと概要	参加者
4 月 15 日(土)	- 活動計画の検討（スケジュール、テーマ、フィールドワーク）抽出したテーマ案の中から各自投票し、次回プレゼン。 - 課題図書「食料危機という真っ赤な嘘」「生成 A I で世界はこう変わる」感想共有	16 名
5 月 18 日(土)	- 各自が投票したテーマについての調査結果等をプレゼンし意見交換 - 名古屋市消費生活フェアへの出展意向調査票提出 - 課題図書（上記）感想共有	16 名
6 月 15 日(土)	- 名古屋市消費生活フェアの発表テーマを食の安全（供給問題）展示内容「危機意識向上」、「米食（自給率向上）」、「植物由来タンパク質（負荷の大きい肉食から持続可能な代替食品）」に決定。 - 項目ごとに 3 グループに分かれて、展示資料作成	18 名
7 月 5 日(金)	フィールドワーク（岐阜市上下水道事業部見学）下水汚泥から肥料原料となるリンを回収する施設	9 名
7 月 20 日(土)	「名古屋市消費生活フェア」での展示資料の検討。各グループの発表、意見交換 - タイトルは、「持続可能な食生活のためのエシカル消費」に決定	17 名
8 月 17 日(土)	名古屋市消費生活フェアの展示内容を各グループ発表・意見交換	20 名
9 月 21 日(土)	- 名古屋市消費生活フェアの展示内容を各グループ発表・意見交換 - アンケートや粗品内容の検討	18 名
10 月 12 日(土)	- 名古屋市消費生活フェアにブース出展し、開催中の運営実施 「持続可能な食生活！」をテーマに展示	20 名
11 月 16 日(土)	- 名古屋市消費生活フェアの振り返り、アンケート分析結果の共有 - フィールドワーク（岐阜市上下水道事業部見学）内容の共有	18 名
12 月 21 日(土)	- 課題図書の候補紹介 - 次年度のテーマ選定について検討。深堀テーマの検討	18 名
1 月 18 日(土)	2025 年度深堀テーマ「温室効果ガス減らして、温度を下げる技術」に決定、フェア向けテーマは継続検討 - 深堀テーマの課題図書「農業が温暖化を解決する」 - 幅広い知識蓄積のため、個人選択のテーマ図書も追加	21 名
2 月 15 日(土)	- 課題図書（上記）、個人選択図書感想共有 - フェア向け研究テーマについて検討	14 名
3 月 15 日(土)	- 課題図書（上記）、個人選択図書感想共有 - フェア向け研究テーマについて検討	14 名

(4) トピックス

2024 年の取り組みテーマは、課題図書に選んだ「食料危機という真っ赤な嘘」をきっかけに、食料の様々な問題点や解決策を調査・検討した結果、「食の安全（供給問題）」を取り上げました。日本の食料自給率は、2023 年度時点で 38%(カロリーベース)であり、食卓の上にある食料品を見ても輸入品や日本で作っていても飼料や肥料が輸入品のものばかりです。

日本人の食べる物が変わり、今後の世界人口増加による取り合い、気候変動、自然災害での不作、国際紛争などで輸入が滞るリスクがあり、現在の食生活は持続できなくなる可能性があります。持続可能な食生活のために消費者として出来ること、商品の購入（選択）＝エシカル消費の提案をしました。

１．米食（自給率向上のため、国産品をエシカル消費）

２．植物由来タンパク質（環境負荷の大きい肉食から持続可能な代替食品）

フェアの展示では、来場された方々も強い関心を持たれていて、理解を深められたと思います。今後、理解が行動へ繋がることを期待します。

2024 年は米不足・価格上昇が起きていて、米離れに繋がらないか心配です。

フィールドワークで見学した岐阜上下水道事業部は日本で初めて污水かリンを回収して肥料としたところ。肥料原料を輸入頼みの日本にとって、このような循環型農業はとても必要だと思いました。

2025 年度活動方針

テーマ「温室効果ガス減らして、温度を下げる技術」を複数年かけて深堀研究していく予定です。また、昨年と同じく名古屋市消費生活フェアの開催（11 月 15 日 土曜日、at 栄のオアシス 21）が決まっております。フェア向け研究テーマは「製品の表示」を発表する予定です。

さあ、あなたも、私たちと一緒に活動してみませんか？

まずは、見学から始めてみましょう。オンラインでの見学も出来ます。

ご興味がありましたら ADCS@chuubu.nacs.or.jp までご連絡のほど、お願いいたします。

あなたのご参加をお待ちしています。

2024 年度活動の模様

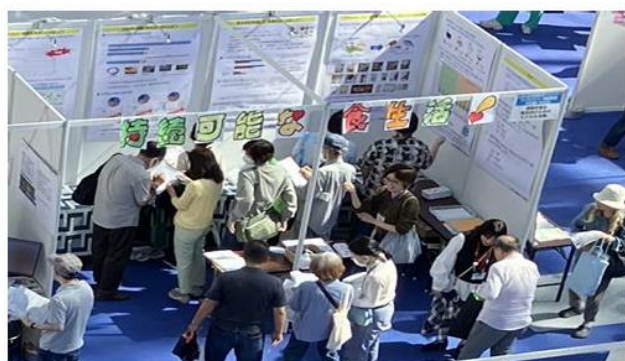
◎フィールドワーク：「岐阜市上下水道事業部」を見学しました

日本は肥料原料を輸入に頼っていますが、この施設では下水汚泥から肥料となるリンを回収



◎名古屋市消費生活フェア：オアシス 21 で開催されました

持続可能な食生活のため、「米食」と「植物性タンパク質」を提案



2024 年度活動報告

(1) 会員数 : 10 名

(2) 活動方針 : 身近な食生活の話題を取り上げ学習し、情報を発信し、提言することを活動目的にしている。健康で楽しく豊かな食生活のために、勉強会や講座等を開催している。

(3) 行事内容

行事	開催日時・場所	内容	参加数
勉強会	5 月 19 日(日) 2 回講演 10:30~12:00 14:00~15:30 場所:名古屋市千種区 おいしくらし工房覚王山	「豆腐よもやま話日本人の食文化と耕種農業」 講師:(株)おとうふ工房いしかわ 代表取締役 石川伸氏 (後日、他メンバーに報告)	自由参加 2 名
勉強会	7 月 26 日(金) ① 10:30~12:00 ② 12:00~13:00 場所:名古屋市千種区 おいしくらし工房覚王山	① 「発酵と乳酸菌について」 講師:カゴメ(株) 小牧工場 生産技士 中島佳子(食研) ② 「旬のチーズとノンアルコールのペアリングを楽しむ」 講師:(有)アイシープラス おいしくらし工房覚王山 代表 水谷陽子(食研)	6 名
定例会①	7 月 26 日(金) 14:00~15:00 同上場所	「今後の活動テーマ」 役員引継ぎについて、他	6 名
定例会②	11 月 25 日(月) 20:00~21:00 オンライン会議	「今後の活動テーマ」 他	10 名
勉強会	3 月 14 日(金) ① 10:00~11:30 *西条園 ② 13:30~15:30*はと屋 場所:西尾市 ① 上町 ② 吾妻町	*抹茶ミュージアム西条園 60 分見学研修コース *はと屋 豆味噌蔵見学研修会 みそまる体験教室 講師:(株)はと屋 代表 9 代目 鳥山欽示氏	8 名
定例会③	3 月 14 日(金) 12:30~13:15 場所:西尾市上町 魚寅	「今後の活動テーマ」 役員引継ぎについて	8 名

(4) トピックス

- ・ 2023 年度から新しく「発酵」をテーマにし、発酵・醸造業の盛んな東海地域の伝統的な食文化を理解し、応援する活動に取り組んでいます。
- ・ 2024 年度は、「発酵とは」をテーマに発酵の正しい知識や食品ができるまでの過程や効能について、講義を受講し、「チーズの食べ比べ」「味噌蔵見学」等を実施し理解を深めました。

2025 年度活動方針

2025 年度は、引き続き「発酵」について活動する予定です。「発酵」について学び、発酵の正しい知識をより深めます。また、発酵以外にも、新しいテーマとなる食の話題も検討中です。

2024 年度活動報告

(1) 会員数 : 12 名

(2) 活動方針 : 【2024 年 6 月度の中部支部運営委員会にて設立が承認された新しい自主研究会です】

『超スマート社会のあるべき姿と実現に向けた取り組み内容を把握・研究し、NACS の各種活動と連動して、超スマート社会実現に向けた未来志向的活動(消費者啓発啓蒙活動・教育人材育成活動・提案提言活動など)を長期にわたり継続していく』

【スローガン】 : 『生きがいのある明るく楽しい活動の場を創ろう! (そのために)
みんなで一緒によりよく考え良い活動をしよう! 』

(3) 行事内容 :

① 定例会…基本的には、月 1 回、土曜日、11 時～12 時 30 分に開催する。

開催場所は、名古屋市消費生活センター内 11 階『消費者活動ルーム』を利用

② 定例会以外のアクティビティ(フィールドワーク、セミナー、講演会、視察、イベントなど)への参加及び開催企画運営については、計画的に実施しています。

③ 2024 年 8 月から 2025 年 4 月までの定例会とアクティビティは以下の通りです。

開催日時	テーマと概要	参加者
8 月 17 日(土) 11:00～12:10	・ 初回定例会…メンバー全員から自己紹介、自由意見などを発表 ・ 超スマート社会研究会の基本企画書案概要説明、質疑応答など ・ 予定している活動内容、NACS の事業との関連について説明	12 名
9 月 13 日(金) 13:00～15:30	・ 中部大学 ESD エコマネーチームと教材開発についての意見交換会 ・ 中部大学 21 号館 1 階にて開催、担当の伊藤准教授と学生 6 名参加	9 名
9 月 21 日(土) 11:00～12:05	・ 9 月 13 日開催の中部大学での意見交換会の報告、参加者の報告等 ・ 中部大学との今後の連携について検討、標準化セミナー開催等説明	12 名
10 月 5 日(土) 13:30～16:50	・ 支部研修会「インスタントハウス見学・北川教授講演会」に参加 ・ 会場…名古屋工業大学 内 インスタントハウス及び 2421 講義室	11 名
10 月 19 日(土) 13:00～16:30	・ 12 月開催予定の標準化セミナーの説明、参加者、今後の予定確認 ・ 14 時～16 時、標準化委員会公開講座を全員でオンライン受講	12 名
11 月 16 日(土) 10:30～12:05	・ 10 月 19 日開催標準化委員会公開講座の開催結果報告・説明など ・ 12 月開催予定の中部大学での標準化セミナーの計画説明、打合せ	12 名
12 月 11 日(水) 10:30～14:45	・ 「NACS 標準化セミナーin 中部大学」(前半)にファシリテーター参加 ・ 中部大学 2215 階教室で開催、担当教授、名古屋市担当者も参加 ・ 参加学生は 127 名、セミナー後に学生達とのミーティングも実施	6 名
12 月 18 日(水) 10:30～14:15	・ 「NACS 標準化セミナーin 中部大学」(後半)にコメンテーター参加 ・ 開催場所、参加学生は前半と同じ、研究会からは 8 名に増員参加	8 名
1 月 18 日(土) 13:00～14:30	・ 12 月開催の標準化セミナー開催報告、参加者からの各自報告など ・ 中部大学との今後の連携について説明。研究会の参考図書紹介等	11 名
2 月 15 日(土) 11:00～12:30	・ 今後の研究会としての標準化事業との連携について予定説明、検討 ・ 支部の ICT 事業の現状と今後の予定説明。その他報告事項の報告等	9 名
3 月 15 日(土) 11:00～11:50	・ 本部標準化事業の活動説明、次年度標準化実行委員候補について ・ 次年度の研究会活動についての意見交換、米倉さんの提案説明等	10 名
4 月 19 日(土) 11:40～12:50	・ 次年度の研究会活動案について検討、米倉さん提案分の再検討 ・ 次年度標準化、ICT 事業にについて説明。標準化実行委員決定など	13 名

(4) トピックス……定例会以外の 2024 年度のアクティビティは以下の通りです。

- ①09 月 13 日(金)… 中部大学 ESD エコマネーチームと教材開発についての意見交換会開催
- ②10 月 05 日(土)… 中部支部研修会「インスタントハウス見学・北川教授講演会」に参加
- ③10 月 19 日(土)… 本部標準化委員会公開講座「消費者の脆弱性」を全員でオンライン受講
- ④12 月 11 日(水)… 「NACS 標準化セミナーin 中部大学」(前半)にファシリテーターで参加
- ⑤12 月 18 日(水)… 「NACS 標準化セミナーin 中部大学」(後半)にコメンテーターで参加

〈各トピックスの画像〉は以下の通りです。



9 月 13 日 中部大学での意見交換会



10 月 5 日 インスタントハウス見学



10 月 19 日 標準化委員会公開講座受講



10 月 5 日 名古屋工業大学 北川教授講演会



12 月 11 日 標準化セミナー グループワーク



12 月 18 日 中部大学標準化セミナー 成果発表会

2025 年度活動方針

- ① 「超スマート社会」についての研究を継続します。
- ② 「超スマート社会」の具体例をフィールドワークで学習します。
- ③ 標準化事業への参加を継続します。(標準化セミナーの開催、標準化のたね探し等)
- ④ ICT 事業への参加をします。(各地の出前講座要望に出張参加します)
- ⑤ 環境委員会事業への参加も検討します。(環境イベントへの参加 等)
- ⑥ 大学(中部大学)との連携を継続します。(各種ミーティングの実施 等)
- ⑦ 行政との連携を図ります。(行政イベントへの参加、コラボ企画の実施 等)
- ⑧ 各種関係団体との連携を図っていきます。

以 上

Ⅱ. 2024 年度予算執行状況

1. 収入の部

収入は昨年度に比べて約 11 万円の減額となりました。

なお、活動報告(P1)に記載した企業や行政と協働事業での収入は本部扱いのため割愛しました。

配分	2024 年度	2023 年度	差異	備考
会員基本割(239 名)	1,021,725	1,137,150	△115,425	会員数減
賛助会員還元(4 社)	240,000	240,000	—	
事業収入	※16,000	10,000	+6,000	損保助成金、日産協交流会助成金
特別収入	30,000	30,000	—	日産協原稿謝礼
合計	1,307,725	1,417,150	△109,425	

※)当初予算策定後、期中に受託したため予算に上乗せしました

2. 支出の部

約 6 万円の超過となりました。また、事前に本部に報告し承諾をいただきました。

予算区分	事業	予算:a	実績:b	差異 :a-b
支部共通	支部大会(報告資料印刷・郵送)	30,000	42,240	△12,240
	支部郵便受付代行費	20,000	20,000	0
	日産協原稿謝礼	30,000	29,464	536
分科会 活動助成	静岡分科会	192,000	180,877	11,123
	三重分科会	114,000	87,379	26,621
	岐阜分科会	96,000	76,817	19,183
	北陸分科会	96,000	47,744	48,256
	予備予算	13,725	10,650	3,075
支部事業	自主研究会助成(3 研究会)	70,000	42,245	27,755
	研修委員会	150,000	145,536	4,464
	事業委員会	156,000	162,323	△6,323
	会員活動委員会	10,000	7,811	2,189
	支部大会(講演会等)	120,000	219,726	※ △99,726
	総務委員会	210,000	294,114	△84,114
	支部合計	1,307,725	1,366,926	△59,201

※1)2025 年度支部大会の会場費(46,610)前払いを含む

Ⅲ. 2025 年度運営方針、予算

1. 運営方針

支部会員が漸減しているという状況を踏まえ、運営面の効率化と会員活動の活性化の両面から、持続的な活動推進を図れるよう施策を進めてまいります。

また、2025 年度は代議員交代があり新たな人材の発掘による支部体制の刷新を進めてまいります。

(1) 運営面の効率化

- ・運営方法の簡素化と見える化により、より多くの会員が運営に関われる環境の整備
- ・ペーパーレス化推進、会員への情報共有の見直し充実(メーリングリスト、ホームページ活用等)

(2) 会員活動の活性化

- ・自主研究会活動の支援と会員へのアピール強化、会員交流の場の新規立ち上げ
- ・本部事業の担い手の育成 (ICT リテラシー、標準化、食品ロス削減等)

2025 年度から岐阜県啓発推進員登録による ICT 啓発普及活動

2. 予算

収入は昨年度に比べ約 8.5 万円の減額となりました。

また、支部関係の受託事業については確定段階で予算に追加いたします。

＜収入＞

配分	2025 年度	昨年度	差異	備考
会員基本割 (253 名)	1,081,575	1,021,725	+59,850	
賛助会員還元 (2 社)	120,000	240,000	△120,000	2 会員が退会
特別収入	30,000	30,000	0	日産協協力金 (執筆謝金)
合計	1,231,575	1,291,725	△60,150	

＜予算配分＞

配分方法はこれまでと同様としましたが、賛助会員の退会もあり総額が減少しています。

- ・分科会活動助成は会員数 (253 名 : 3 月末) から按分。
- ・委員会予算は昨年度実績を考慮し配分。
- ・特別収入については執筆者のご厚意により会員活動予算に上乘せ。

総予算の減少で厳しい状況ですが、運用途中で融通し合いながら進めたいと考えています。

予算区分	事業	配分額	備考
分科会活動助成	静岡分科会	190,000	会員 42→40 名 : 189,972
	三重分科会	119,000	会員 25 名 : 118,733
	岐阜分科会	90,000	会員 21→19 名 : 90,237
	北陸分科会	100,000	会員 19→21 名 : 99,753
	予備予算	13,575	他県在住会員 3 名
支部事業	自主研究会助成 (4 研究会)	80,000	20,000/研究会
	研修委員会	150,000	
	事業委員会	83,000	名古屋市フェア、資格者交流会等
	会員活動委員会	118,000	合格祝賀会、資格者交流会等
	支部大会 (講演会等)	120,000	
	総務委員会	168,000	
	支部合計	1,231,575	

IV. 賛助会員・支部会員数

1. 支部関係賛助会員（五十音順）

中部電力ミライズ株式会社、東邦ガス株式会社

2. 支部正会員 254 名（2025 年 4 月末現在）

愛知県 146 名、三重県 25 名、岐阜県 19 名、静岡県 40 名、福井県 9 名、
石川県 4 名、富山県 8 名、東京都 1 名、大阪府 1 名、岡山県 1 名

V. 2025 年度運営体制 敬称略

◇運営委員（◎は委員長）

支部長	星野 不二雄
副支部長	北川 住江
会員活動委員会	◎山中 みゆき・長澤 公子・田中 利樹
広報委員会	◎稲垣 隆信・中島 佳子・中山 好昭
研修委員会	◎日向 淑子・伊藤 昌伸・恒川 日出美・吉田 哲也
事業委員会	◎西田 敏明・山田 勲・河合 成信・皿井 進 池城 利江子・米倉 邦彦・櫻井 瑞恵
総務委員会	◎瀬古 昇一・上田 之道（兼 会計担当）

◇分科会代表・副代表

静岡分科会	河合 康成（副）山岡 美須永
三重分科会	陰地 康行（副）田中 睦
岐阜分科会	山田 圭子（副）堀部 葉子
北陸分科会	橘 宏和（副）片谷 千恵子

◇研究会代表（設立順）

研究会 ACT	荒川 美枝子
食生活研究会	稲熊 裕子
AD・CS 研究会	杉浦 健実
超スマート社会研究会	西田 敏明

◇代議員 9 名（五十音順）

陰地 康行・河合 康成・北川 住江・清水 美和子・瀬古 昇一
橘 宏和・星野 不二雄・山岡 美須永・山田 圭子

この報告書に関するお問い合わせ、ご意見等は、中部支部総務委員会まで。

Eメール soumu@chuubu.nacs.or.jp



<https://nacs.or.jp/chuubu/>